

2016年 1月17日(日)

(日曜日)

上

毛

新

聞

甘楽で南米3カ国日系女性6人

# 地元農家と料理作り

## 本県最後の研修で交流



ひまわり会メンバーと料理を作る南米の日系人女性

ブラジル、ボリビア、パラグアイの南米3カ国の日系人女性6人が16日、甘楽町の天引農村婦人の家を訪れ、地元農家の女性グループ「ひまわり会」（山崎澄子代表）と意見交換したり、郷土料理と一緒に作ったりしながら交流を深めた。

一行は、日系人農業者の連携強化や地域活性化を図ろうと、農林水産省の中南米日系農業者連携交流事業で今年6～27日の日程で来

日。そのうち12～16日に本県を訪れ、NPO法人自然塾寺子屋（同町上野）の調整でみなかみ、高崎、前橋、富岡など各地を巡り、イチゴ農園や加工販売施設の見学、そば打ち、フラワーアレンジメント体験を行った。本県で最後となるこの日の研修では、日系人女性が所属農協の地域交流活動やブドウ、米、大豆といった農産物を説明。料理研修では甘楽の女性に調理法を教わり、黒豆おこわ、けんちん汁、ホウレンソウのごまあえをこしらえた。

ブラジル農協婦人部連合会の日系2世、森岡児玉小夜子さん（63）は「母から教わり、ブラジルでも日本料理を作っているが、実際に日本の農村で作る料理を教えてもったい勉強になった。ブラジルで広めたい」と喜んでた。